

# 2020年度 第3四半期決算

2021年2月2日

三菱電機株式会社

## <決算のポイント>

### 1. 第3四半期は、量産系を中心に回復加速、前年同期比減収も営業利益は増益転換

- 全社の売上高は前年同期比減収ながら、**産業メカトロニクス・家庭電器は増収に転換**。  
産業メカトロニクスは、F Aシステムが5 G 関連需要増などにより大きく増収し、自動車機器も前年同期並みに回復。
- 営業利益は産業メカトロニクス・家庭電器での増収や、緊急改善対策の進捗により増益。  
売上原価率・販管費率共に改善し、**営業利益率は前年同期比1.0ポイント改善**。

### 2. 通期の全社業績予想は、上方修正 (売上高+500億円、営業利益+400億円)

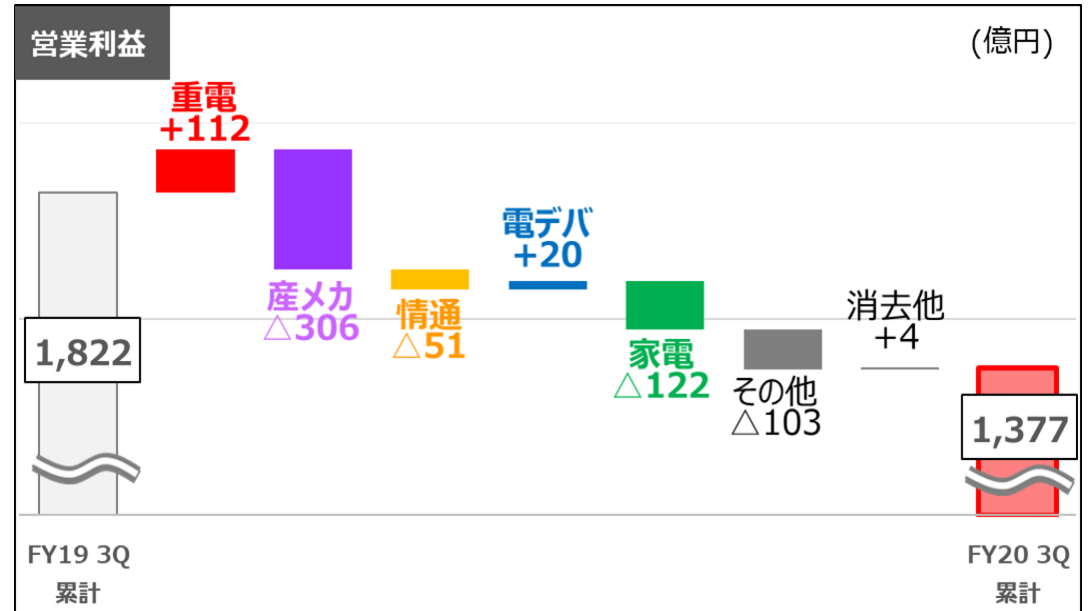
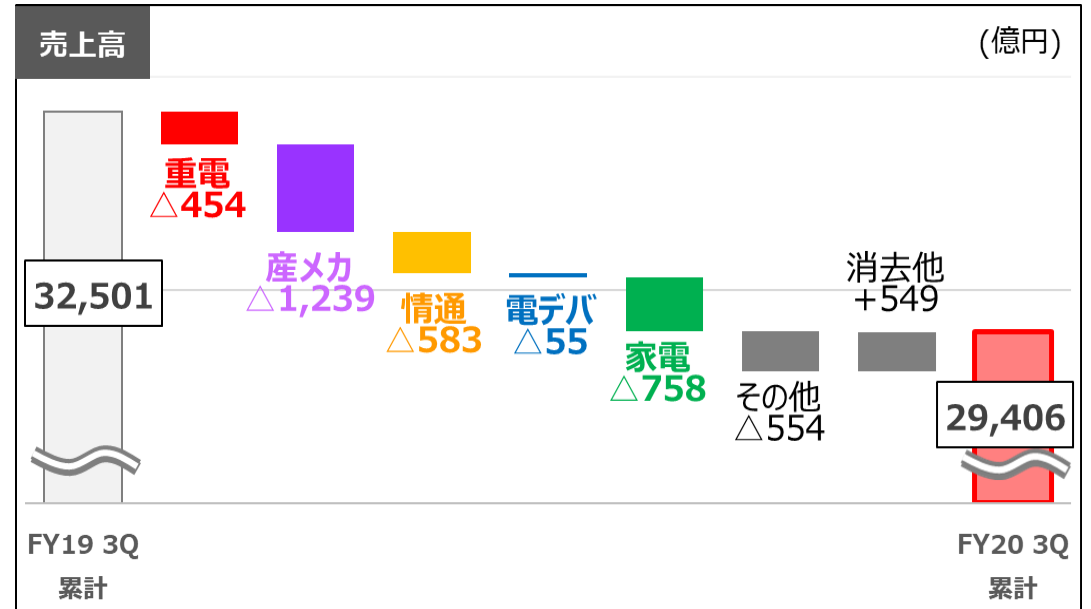
- **産業メカトロニクス・家庭電器などの改善**により、通期の業績予想を上方修正。
- 第4四半期の新型コロナウイルス感染症の影響については、足元の感染拡大状況などを踏まえ、概ね前回想定ベースで据え置く。

## 第3四半期累計 概況

(億円)

	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	前年同期比	
				%
売上高	32,501	<b>29,406</b>	△3,095	90
営業利益 (%)	1,822 5.6%	<b>1,377</b> <b>4.7%</b>	△445 △0.9%	76 -
税引前 四半期純利益	1,987	<b>1,583</b>	△404	80
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,597	<b>1,077</b>	△519	67

為替レート	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計
米ドル	109円	<b>106円</b>
ユーロ	121円	<b>123円</b>
人民元	15.6円	<b>15.4円</b>

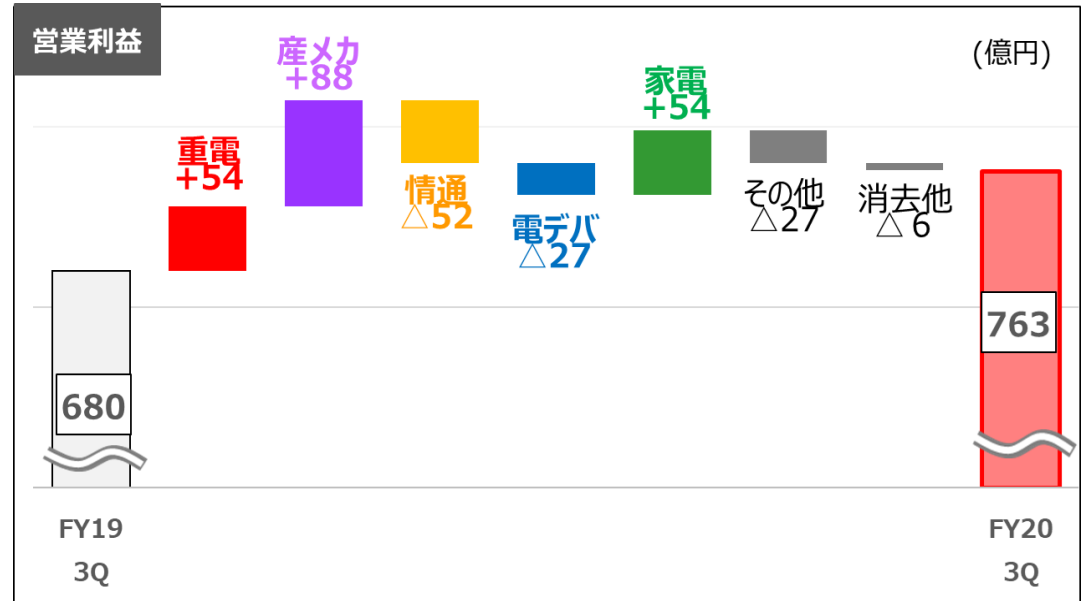
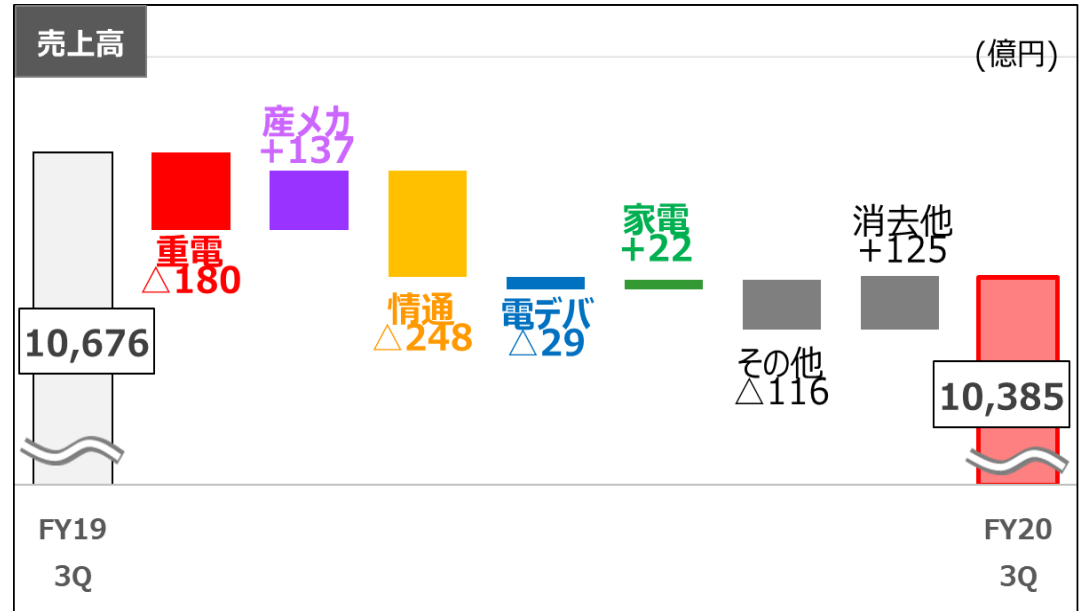


## 第3四半期 概況

(億円)

	19年度 3Q	20年度 3Q	前年同期比	
			△	%
売上高	10,676	<b>10,385</b>	△290	97
営業利益 (%)	680 6.4%	<b>763</b> <b>7.4%</b>	+83 +1.0%	112 -
税引前 四半期純利益	747	<b>826</b>	+79	111
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	684	<b>595</b>	△89	87

為替レート	19年度 3Q	20年度 3Q
米ドル	109円	<b>104円</b>
ユーロ	122円	<b>124円</b>
人民元	15.6円	<b>15.8円</b>



## 第3四半期累計 連結損益計算書

(億円)

	19年度3Q累計		20年度3Q累計		前年同期比
		売上高比		売上高比	
売上高	32,501	100.0%	29,406	100.0%	△3,095
売上原価	23,318	71.7%	21,237	72.2%	△2,081
販売費及び一般管理費	7,478	23.0%	6,808	23.2%	△670
その他の損益 (△損失)	118	0.3%	16	0.1%	△101
営業利益	1,822	5.6%	1,377	4.7%	△445
金融収益・費用 (△費用)	32	0.1%	58	0.2%	+26
持分法による投資利益	133	0.4%	148	0.5%	+15
税引前四半期純利益	1,987	6.1%	1,583	5.4%	△404
法人所得税費用	292	0.9%	444	1.5%	+152
四半期純利益	1,695	5.2%	1,138	3.9%	△557
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,597	4.9%	1,077	3.7%	△519

## 第3四半期 連結損益計算書

(億円)

	19年度3Q		20年度3Q		前年同期比
		売上高比		売上高比	
売上高	10,676	100.0%	10,385	100.0%	△290
売上原価	7,695	72.1%	7,389	71.1%	△305
販売費及び一般管理費	2,409	22.5%	2,242	21.6%	△166
その他の損益 (△損失)	109	1.0%	9	0.1%	△99
営業利益	680	6.4%	763	7.4%	+83
金融収益・費用 (△費用)	28	0.2%	20	0.2%	△7
持分法による投資利益	39	0.4%	42	0.4%	+3
税引前四半期純利益	747	7.0%	826	8.0%	+79
法人所得税費用	36	0.3%	202	2.0%	+165
四半期純利益	711	6.7%	624	6.0%	△86
親会社株主に帰属する 四半期純利益	684	6.4%	595	5.7%	△89

## 連結財政状態計算書

20年3月末 総資産:4兆4,097億円

<p><b>流動資産 2兆6,280億円</b></p> <p>現金・現金同等物 5,375億円</p> <p>売上債権 9,004億円</p> <p>契約資産 3,436億円</p> <p>棚卸資産 6,938億円</p>	<p><b>負債 1兆8,709億円</b></p> <p>社債・借入金 (リース負債除く) 2,670億円 〈借入金比率:6.1%〉</p>
<p><b>非流動資産 1兆7,817億円</b></p> <p>有形固定資産 8,543億円</p>	<p><b>資本 2兆5,388億円</b></p> <p>親会社株主に帰属する持分 2兆4,297億円 〈親会社株主帰属持分比率: 55.1%〉</p> <p>非支配持分 1,091億円</p>

20年12月末 総資産:4兆4,482億円

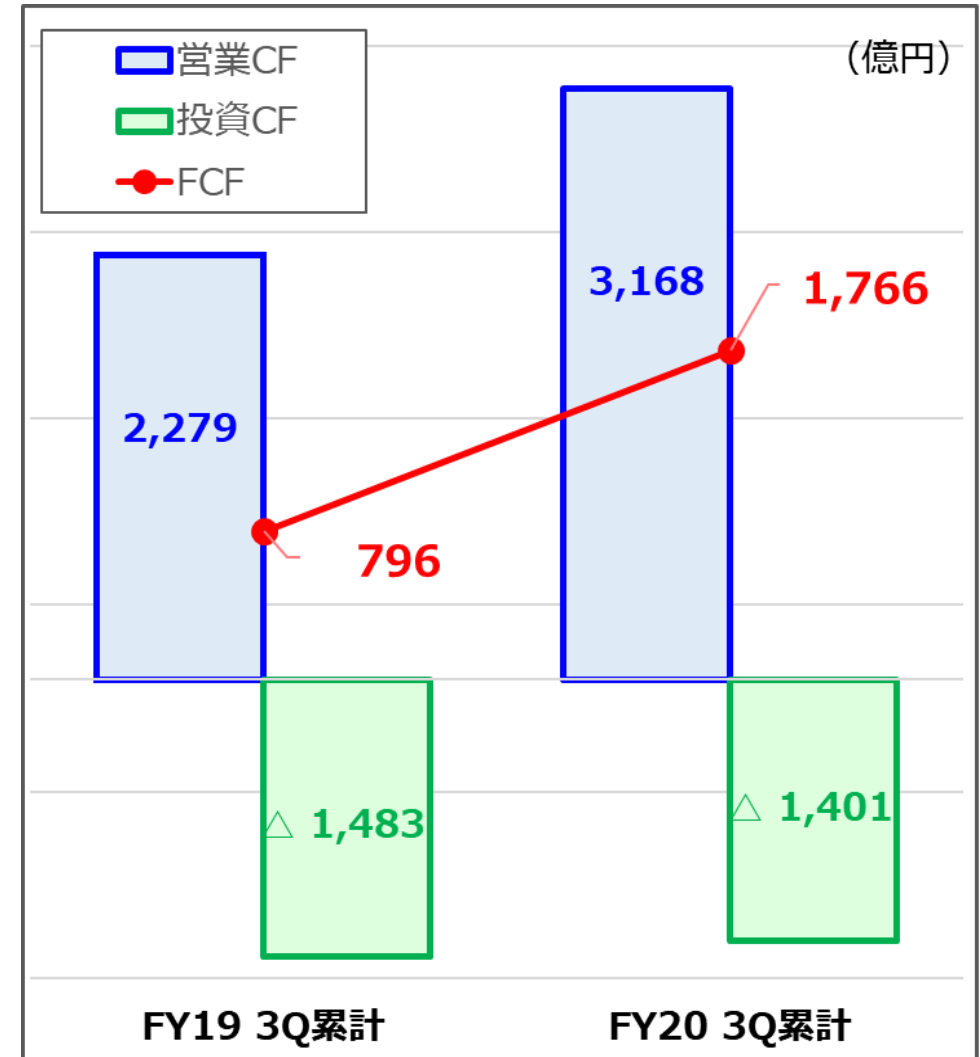
<p><b>流動資産 2兆6,164億円</b></p> <p>現金・現金同等物 6,255億円</p> <p>売上債権 7,101億円</p> <p>契約資産 3,462億円</p> <p>棚卸資産 7,746億円</p>	<p><b>負債 1兆8,048億円</b></p> <p>社債・借入金 (リース負債除く) 2,988億円 〈借入金比率:6.7%〉</p>
<p><b>非流動資産 1兆8,317億円</b></p> <p>有形固定資産 8,577億円</p>	<p><b>資本 2兆6,433億円</b></p> <p>親会社株主に帰属する持分 2兆5,327億円 〈親会社株主帰属持分比率: 56.9%〉</p> <p>非支配持分 1,106億円</p>



## 連結キャッシュ・フロー計算書

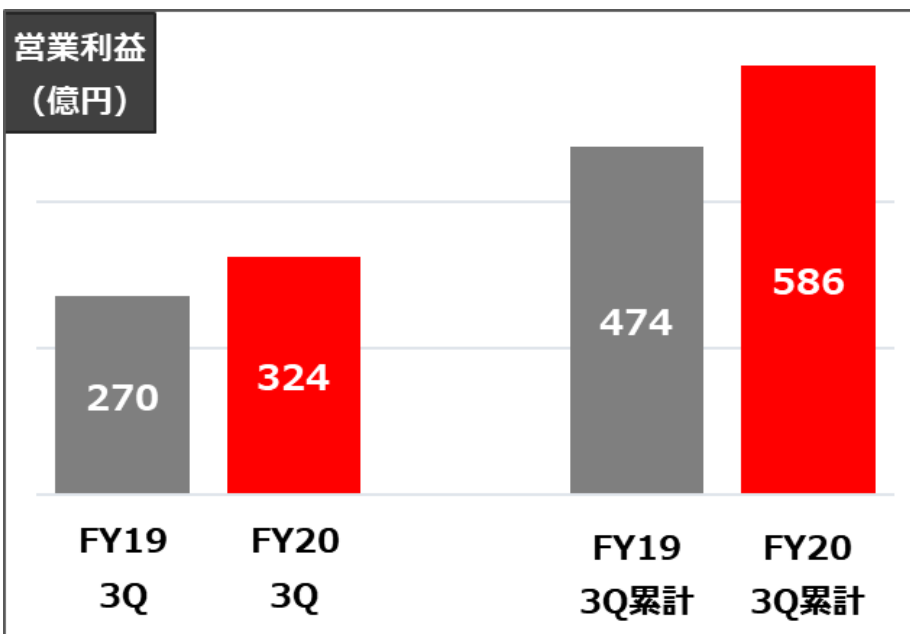
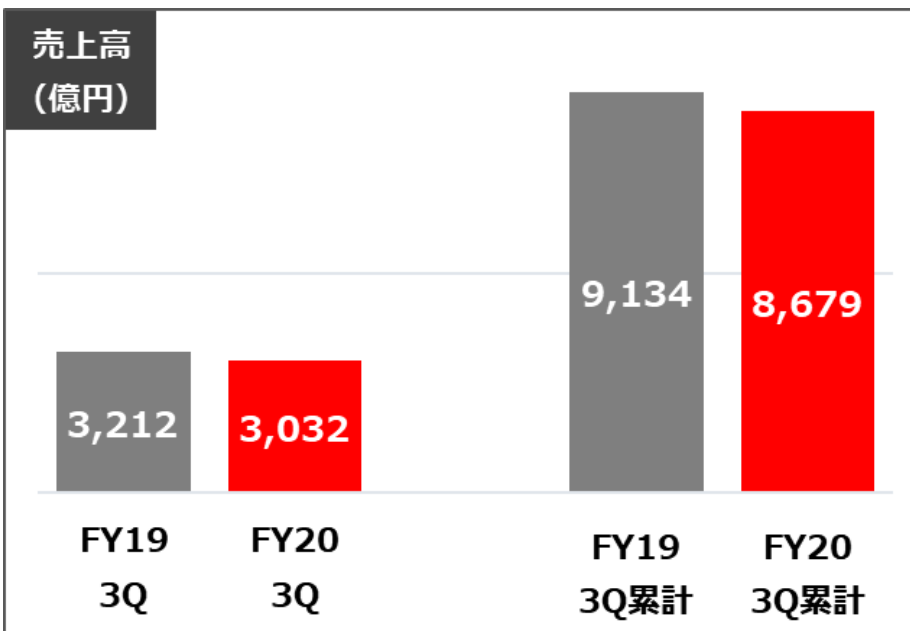
(億円)

	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	前年 同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	2,279	3,168	+888
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,483	△1,401	+81
フリー・キャッシュ・ フロー	796	1,766	+970
財務活動による キャッシュ・フロー	△918	△941	△23
現金及び現金同等 物の期末残高	4,990	6,255	+1,264





## 事業の種類別セグメント情報 <重電システム>



### 第3四半期 (3Q)

#### 売上高

社会インフラ事業の事業環境は、国内の公共事業における防災・減災向けの投資や国内の電力システム改革に伴う需要などが堅調に推移しましたが、国内外の発電関連の需要が減少したほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受け国内の鉄道各社の設備投資計画に見直しの動きがみられました。このような状況の中、同事業は国内外の交通事業や海外の電力事業の減少などにより、受注高・売上高ともに前年同期を下回りました。

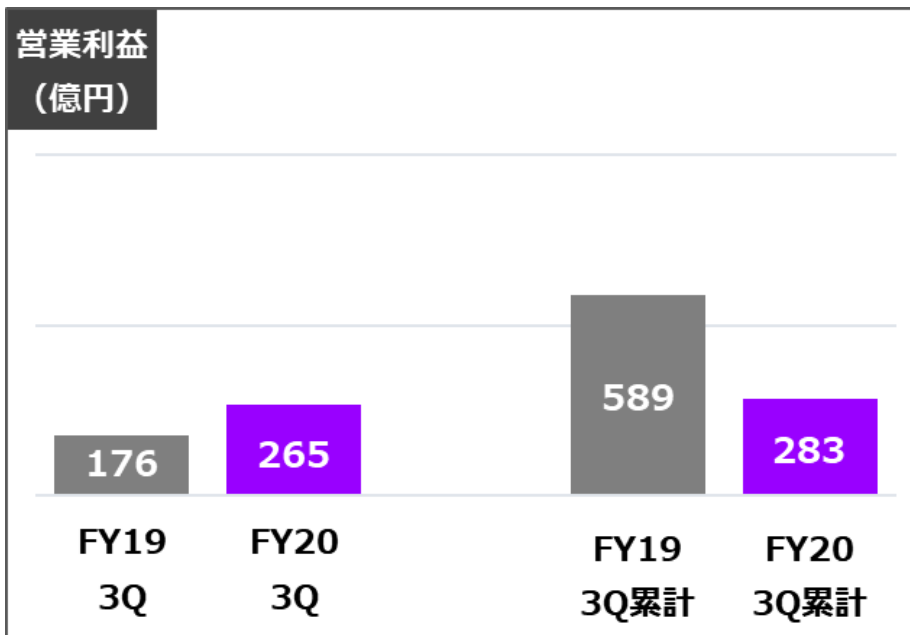
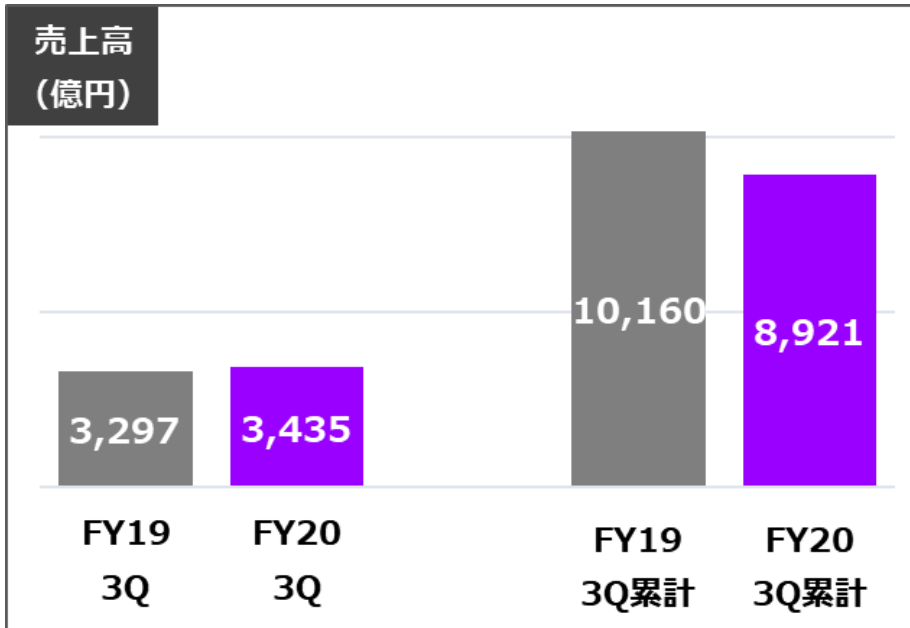
ビルシステム事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による市況低迷を受け、各国で建設計画の遅延や設備投資計画の見直しなどが発生し、国内外ともに新設・リニューアル事業を中心に需要が減少しました。このような状況の中、同事業は、アジアを中心に減少し、受注高・売上高ともに前年同期を下回りました。

この結果、部門全体では、売上高は**前年同期比94%の3,032億円**となりました。

#### 営業利益

売上案件の変動や費用改善などにより、**前年同期比54億円増加の324億円**となりました。

## 事業の種類別セグメント情報 <産業メカトロクス>



### 第3四半期 (3Q)

#### 売上高

FAシステム事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内外の自動車関連、国内の建屋関連を中心に需要の停滞が続きましたが、海外を中心に5G関連や半導体関連の需要が拡大しました。このような状況の中、同事業は受注高・売上高とも前年同期を上回りました。

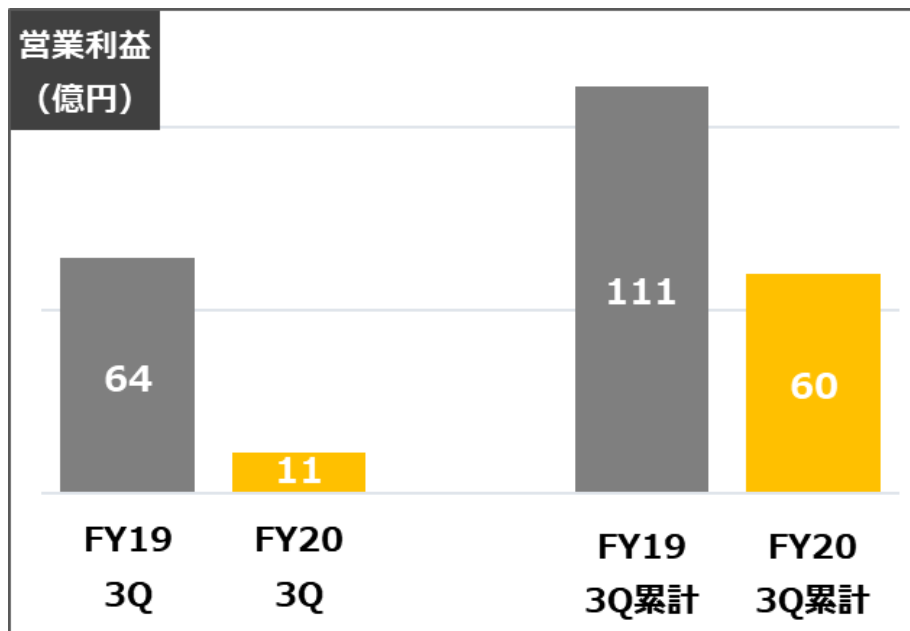
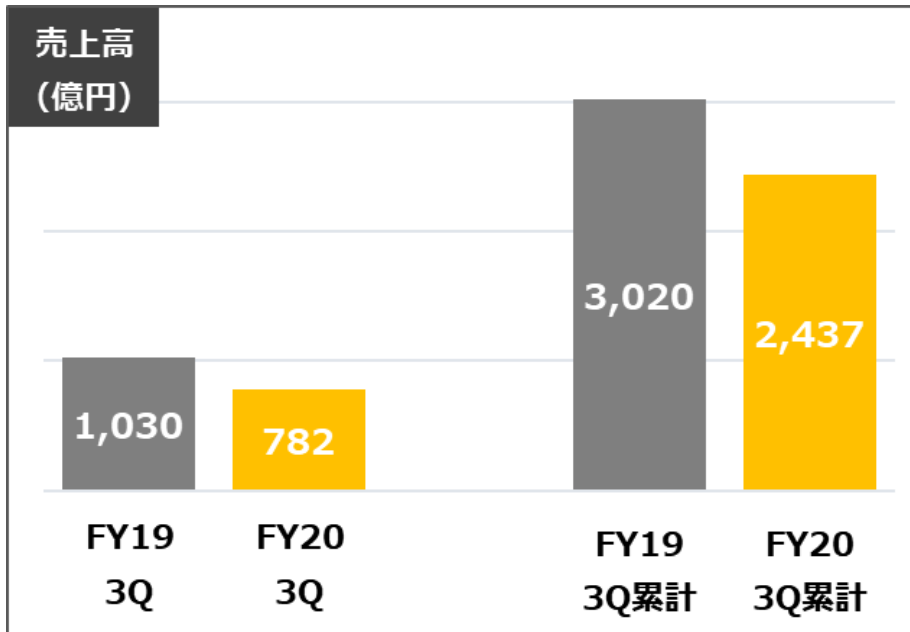
自動車機器事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、欧州・米国での新車販売台数が前年同期より減少しましたが、中国・国内などでは増加しました。このような状況の中、同事業は受注高・売上高ともに前年同期並みとなりました。

この結果、部門全体では、売上高は**前年同期比104%の3,435億円**となりました。

#### 営業利益

売上高の増加や費用改善などにより、**前年同期比88億円増加の265億円**となりました。

## 事業の種類別セグメント情報 <情報通信システム>



### 第3四半期 (3Q)

#### 売上高

情報システム・サービス事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、製造業向けを中心にシステム開発案件の延期や中止などがありました。このような状況の中、同事業は、システムインテグレーション事業などの減少により受注高・売上高とも前年同期を下回りました。

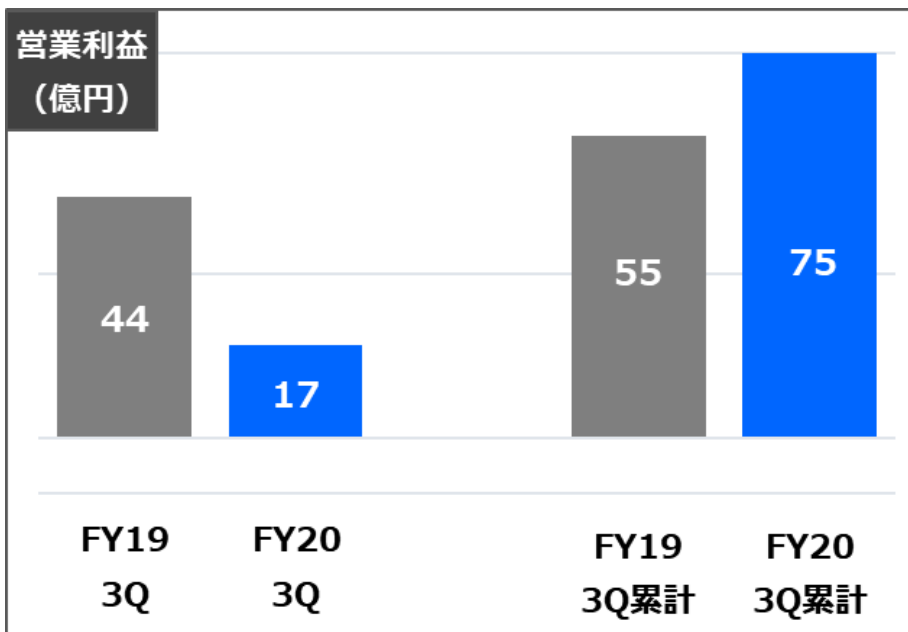
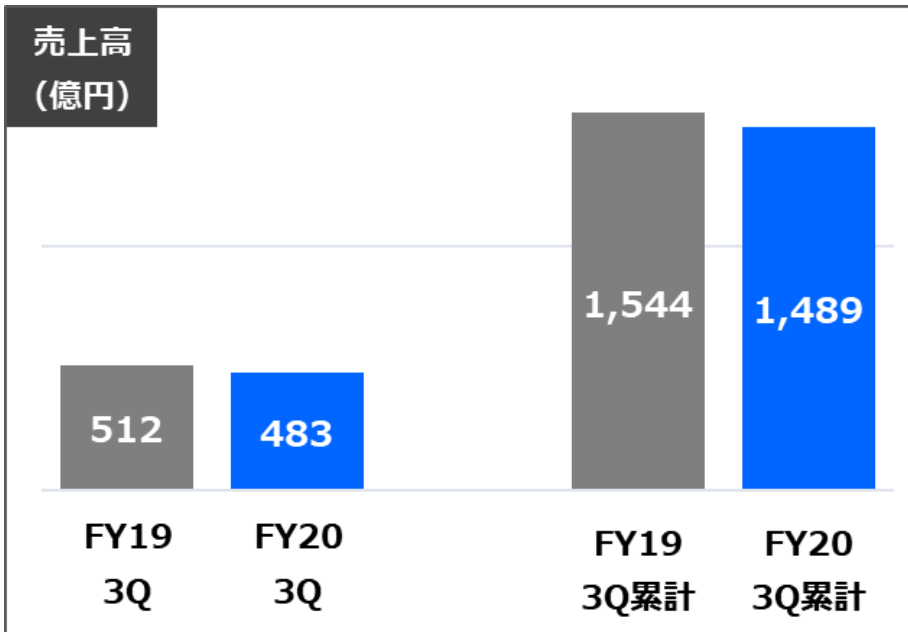
電子システム事業は、受注高は防衛システム事業の大口案件の増加などにより前年同期を上回りましたが、売上高は防衛システム事業の大口案件の減少などにより前年同期を下回りました。

この結果、部門全体では、売上高は**前年同期比76%の782億円**となりました。

#### 営業利益

売上高の減少などにより、**前年同期比52億円減少の11億円**となりました。

## 事業の種類別セグメント情報 <電子デバイス>



### 第3四半期 (3Q)

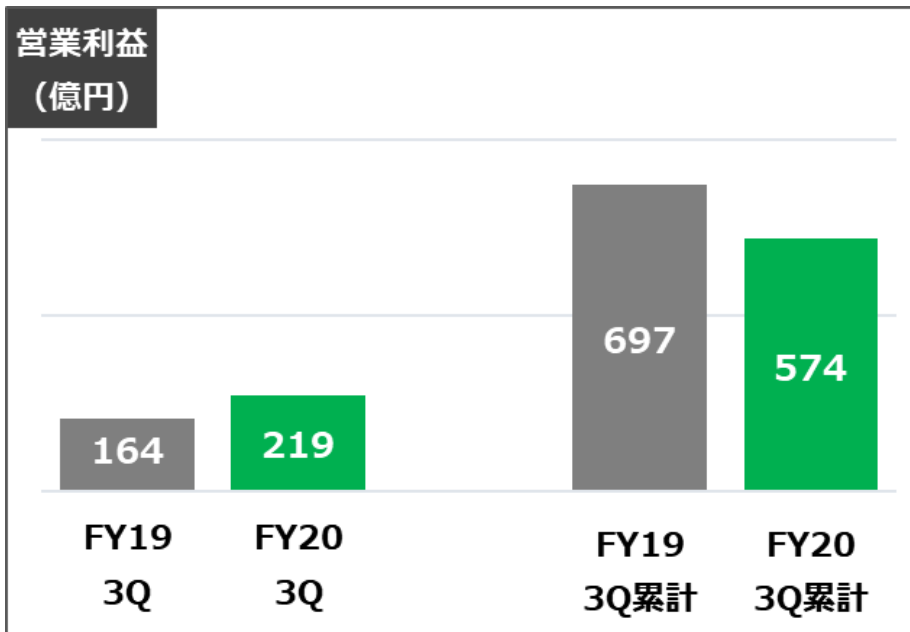
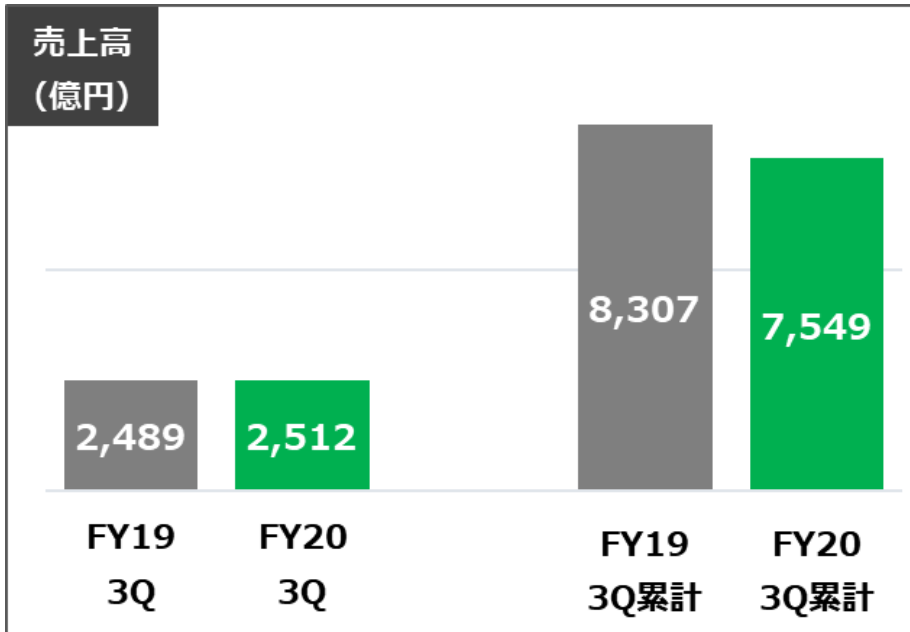
#### 売上高

電子デバイス事業の事業環境は、高周波光デバイスにおいて、次世代データセンター関連などの堅調な需要が継続した一方で、パワー半導体については、自動車向けなどで需要が回復しましたが産業向けの需要が減速しました。このような状況の中、同事業は受注高は自動車用などのパワー半導体の増加により前年同期を上回りましたが、売上高は産業用のパワー半導体や液晶の減少などにより、**前年同期比94%の483億円**となりました。

#### 営業利益

売上高の減少などにより、**前年同期比27億円減少の17億円**となりました。

## 事業の種類別セグメント情報 <家庭電器>



### 第3四半期 (3Q)

#### 売上高

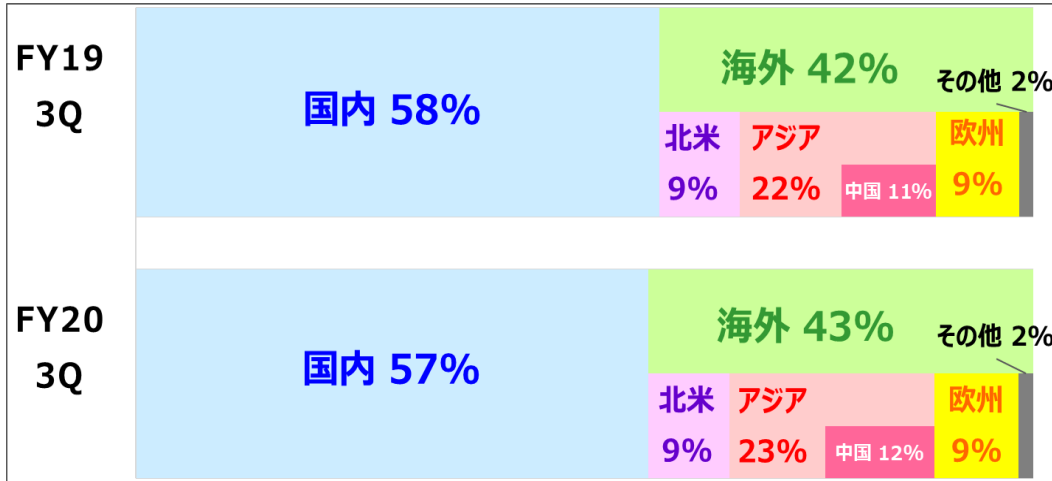
家庭電器事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国内外での設備投資の抑制による業務用空調機器の需要減少などがありましたが、欧州・北米・国内では在宅時間の増加などにより家庭用空調機器の需要が増加しました。このような状況の中、同事業は欧州・北米の空調機器の増加などにより、売上高は前年同期比**101%の2,512億円**となりました。

#### 営業利益

売上高の増加などにより、前年同期比**54億円増加の219億円**となりました。

# 向先地域別売上高

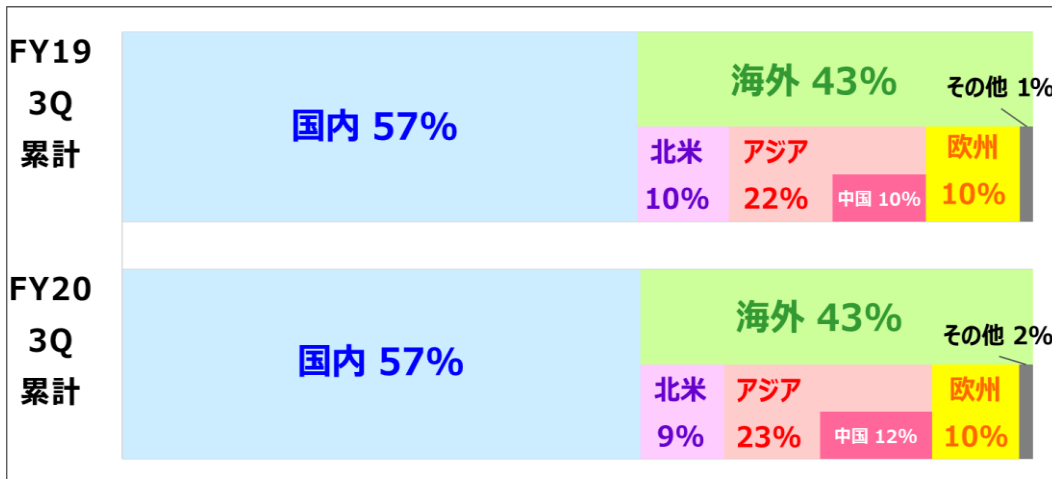
## 第3四半期



(億円)

	合計	国内	海外	北米	アジア	中国	欧州	その他
FY19 3Q	10,676	6,229	4,446	954	2,336	1,124	991	165
FY20 3Q	10,385	5,928	4,456	941	2,371	1,258	977	167
前年同期比	△290	△300	+10	△12	+35	+134	△13	+1

## 第3四半期累計



(億円)

	合計	国内	海外	北米	アジア	中国	欧州	その他
FY19 3Q 累計	32,501	18,395	14,105	3,251	7,033	3,341	3,351	468
FY20 3Q 累計	29,406	16,732	12,673	2,695	6,708	3,607	2,820	449
前年同期比	△3,095	△1,663	△1,431	△555	△325	+265	△531	△18

## 20年度業績見通し

(億円)

	19年度 実績	20年度見通し		前年度比 (%)	前回比
		前回	今回		
売上高	44,625	40,500	<b>41,000</b>	92%	+ 500
営業利益 (%)	2,596 5.8%	1,500 3.7%	<b>1,900</b> <b>4.6%</b>	73% -	+ 400 + 0.9%
税引前当期純利益	2,819	1,750	<b>2,150</b>	76%	+ 400
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,218	1,200	<b>1,450</b>	65%	+ 250

※前回：20年10月29日

		前回		今回	
		2Q累計 実績	3・4Q 見通し	3Q 実績	4Q 見通し
為替レート	米ドル	106円	105円	<b>104円</b>	<b>103円</b>
	ユーロ	122円	120円	<b>124円</b>	<b>125円</b>
	人民元	15.2円	15.0円	<b>15.8円</b>	<b>16.0円</b>

※前回：20年10月29日

## <補足情報：部門別売上高・営業損益>

(億円)

		19年度 実績	20年度見通し		前年度比	前回比
			前回	今回		
<b>重電システム</b>	売上高	13,073	12,800	<b>12,700</b>	△ 373	△ 100
	営業利益	823	870	<b>930</b>	+106	+60
	(%)	6.3%	6.8%	<b>7.3%</b>	+1.0%	+0.5%
<b>産業メカトロニクス</b>	売上高	13,494	11,500	<b>12,100</b>	△ 1,394	+600
	営業利益	689	180	<b>340</b>	△ 349	+160
	(%)	5.1%	1.6%	<b>2.8%</b>	△ 2.3%	+1.2%
<b>情報通信</b>	売上高	4,555	4,000	<b>3,800</b>	△ 755	△ 200
	営業利益	264	180	<b>160</b>	△ 104	△ 20
	(%)	5.8%	4.5%	<b>4.2%</b>	△ 1.6%	△ 0.3%
<b>電子デバイス</b>	売上高	2,087	2,100	<b>2,000</b>	△ 87	△ 100
	営業利益	87	0	<b>30</b>	△ 57	+30
	(%)	4.2%	0.0%	<b>1.5%</b>	△ 2.7%	+1.5%
<b>家庭電器</b>	売上高	10,902	9,700	<b>10,000</b>	△ 902	+300
	営業利益	782	450	<b>620</b>	△ 162	+170
	(%)	7.2%	4.6%	<b>6.2%</b>	△ 1.0%	+1.6%
<b>その他</b>	売上高	6,596	5,900	<b>5,900</b>	△ 696	0
	営業利益	260	130	<b>130</b>	△ 130	0
	(%)	3.9%	2.2%	<b>2.2%</b>	△ 1.7%	0.0%
<b>消去他</b>	売上高	△ 6,085	△ 5,500	<b>△ 5,500</b>	+585	0
	営業損益	△ 310	△ 310	<b>△ 310</b>	0	0
<b>連結合計</b>	売上高	<b>44,625</b>	<b>40,500</b>	<b>41,000</b>	△ 3,625	+500
	営業損益	<b>2,596</b>	<b>1,500</b>	<b>1,900</b>	△ 696	+400
	(%)	<b>5.8%</b>	<b>3.7%</b>	<b>4.6%</b>	△ 1.2%	+0.9%

※前回：20年10月29日



## <参考>

△：悪化、+：改善

# 新型コロナウイルス感染症の影響

## <売上高への影響>

(億円)

前回				今回			
1Q 実績	2Q 実績	3・4Q 見通し	年間 見通し	3Q 実績	3Q累計 実績	4Q 見通し	年間 見通し
△ 1,800	△ 1,000	△ 2,300	△ 5,100	△ 700	△ 3,500	△ 1,200	△ 4,700

※前回：20年10月29日

## <営業利益への影響>

(億円)

前回				今回			
1Q 実績	2Q 実績	3・4Q 見通し	年間 見通し	3Q 実績	3Q累計 実績	4Q 見通し	年間 見通し
△ 480	△ 120	△ 550	△ 1,150	+ 150	△ 450	△ 300	△ 750

## [内、緊急改善対策]

+360	+290	+450	+1,100	+350	+1,000	+250	+1,250
------	------	------	--------	------	--------	------	--------

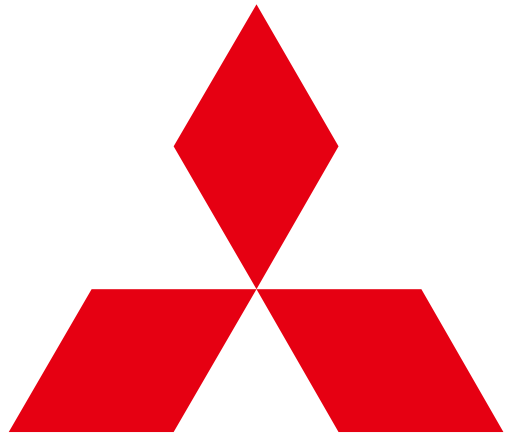
※前回：20年10月29日

# Changes for the Better

本資料に記載されている三菱電機グループの業績見通しの将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあります。

なお、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因のうち、主なものは以下のとおりですが、新たな要因が発生する可能性もあります。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑤ 資金調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 環境に関連する規制や問題
- ⑧ 製品やサービスの欠陥や瑕疵等
- ⑨ 訴訟その他の法的手続き
- ⑩ 急激な技術変化や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑪ 事業構造改革
- ⑫ 情報セキュリティー
- ⑬ 地震・台風・津波・火災等の大規模災害
- ⑭ テロ・戦争、感染症の流行等による社会的・政治的混乱
- ⑮ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項



**MITSUBISHI  
ELECTRIC**

*Changes for the Better*